

クリチバ総領事館からのお知らせ（感染症情報）

2017年1月25日

黄熱病の流行についてのお知らせ。

クリチバ市にお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ
在クリチバ日本国総領事館

昨今、ミナス・ジェライス州を中心に、黄熱病の流行がみられます。また、サンパウロ州での感染者も発生しておりますので、同州への出張・旅行等を計画されている方はご注意ください。

本年に入ってから、ミナス・ジェライス州を中心に、黄熱病の流行がみられます。同州保健局によれば、2017年に入ってから1月17日現在で既に184件の黄熱病疑い例が確認されており、53件で死亡が確認されています。

【黄熱病とは】

蚊が媒介するウイルス病です。森林地帯の猿などにも感染します。潜伏期は3～6日間で高熱で発症し、20%は重症化して肝不全を伴い死亡します。予防接種がありますので、森林地帯に入る場合は予防接種が必要です。

以下厚生労働省検疫所 HP 参照 <http://www.forth.go.jp/useful/yellowfever.html>

【発生状況】

1 ミナス・ジェライス州

ミナス・ジェライス州保健局によれば、本年1月1日から1月17日までに184件の黄熱病疑い例が確認されており、53名が死亡しています。

1月17日付当地主要紙「オ・グローボ」によれば、ミナス・ジェライス州の26市で黄熱病の発生が確認されています（都市部での発生は現時点確認されていません）。

2000年以降、ブラジル国内で100件以上の黄熱病の発生が確認された年はなく、上記の通り、ミナス・ジェライス州で本年に入ってからわずか半月余りで150件を超える疑い例が確認されるのは異例と言えます。

2 サンパウロ州

サンパウロ主要紙によりますと、サンパウロ州内において、4名が黄熱病に感染し、死亡した旨報道されています。サンパウロ総領事館よりサンパウロ州保健局免疫課に同報道の事実関係について確認しましたところ、4名のうち1名は、アララクアラ地方のアメリコ・ブラジリエンセ市（サンパウロ市より北西260Km）に居住しており、黄熱病が流行しているミナス・ジェライス州へは渡航していなかったことが確認されました。

【黄熱病Q&A】

2017年1月21日付けオ・エスタード・デ・サンパウロ紙は、以下Q&Aを掲載して、注意を呼びかけていますので参考にして頂けると幸いです。

1 サンパウロ市内で黄熱病に感染する危険があるか？

（答）いいえ。ウイルスは、サンパウロ市内で循環していない。サンパウロ市内で黄熱病により死亡した方たちはミナス・ジェライス州へ渡航して感染した（総領事館注：その後、アメリコ・ブラジリエンセ市在住者については、ミナス・ジェライス州へ渡航していなかったことが判明）。

2 サンパウロ市内に居住しているものは、予防接種を受ける必要があるか？

（答）予防接種推奨地域への渡航を計画している場合、予防接種を受ける必要がある。例え

ば、ミナス・ジェライス州、サンパウロ州地方都市、特に、これらの地域の農村地域。渡航予定がなければ、予防接種を受ける必要はない。

3 黄熱病が都市部で感染する可能性はあるか？

(答) 「*Aedes aegypti*」という都市に生息する蚊は、ジカ熱、デング熱、チクングニア熱を媒体し、潜在的には黄熱病を媒体する。過去に黄熱病を媒体したことがある。しかしながら、1942年以後そのような感染は記録されていない。今日報告されている黄熱病は、農村地での感染で、「*Haemagogus*」という種類の蚊に刺されたことによる。とはいえ、多くの感染者が都市部を移動することにより、感染者を刺した「*Aedes aegypti*」が媒体して、都市部での感染が始まっていく危険があるということが懸念される。

4 一度予防接種を受けたものは、再度、予防接種を受ける必要があるか？

(答) 予防接種を受けてから10年以上経っていれば、黄熱病の感染危険地域へ渡航する際に、再度予防接種を受けることが推奨される。2回予防接種を受けたものは、生涯黄熱病に対して免疫があるとみなされている。

5 どのくらい前に予防接種を受けなければならぬか？

(答) 予防接種の免疫効果が現れるまで、少なくとも10日かかる。

【当館からのお願い】

・パラナ州での黄熱病は確認されておりませんが、地方都市ではデング熱・ジカ熱の発症は確認されております。外出の際には虫刺され対策を励行して下さい。

・ミナス・ジェライス州、サンパウロ州地方都市、特に、これらの地域の農村地域・山岳部に渡航予定がある場合は、黄熱病の予防接種を受けて下さい。